

鈴木信太郎 すずき しんたろう 洋畫家。明治二十八年八月十日、白東京生れ。正成  
 元年五月十二日歿（一八五—一九九）。白馬會洋畫研究所の學ぶ。昭和  
 十五年武藏野美術大學教授。二十八年多摩美術大學教授。また、一科會  
 會員を経て二十一年一場會創立會員、二十五年日本藝術院會員、四十  
 四年同會員、六十二年文化功勞者。歌人鈴木金一（號一念）の兄。  
 著書、隨筆集『お祭りの太鼓』（昭和二十四年四月）二十五日朝日新聞  
 社）、『味なごの』（合著・読売新聞社全部編、昭和二十八年七月二  
 十日現代思潮社）、『放浪隨筆—お休みの前』（合著・NHK編、  
 昭和二十八年七月）二十日日本出版協同株式会社）、『阿蘭陀まんご』（  
 昭和二十九年四月）二十日東峰書房）等。

